

(公財) 神戸大学六甲台後援会だより (72)

令和5年を迎えて

前回から今回の六甲台後援会だよりの間に新年を迎えることとなりました。大学それ自体は新年度になったわけではありませんが、暦のうえでは令和4年から令和5年にかわったことで新年になったのだなあとという気がしています。ただ、相変わらずコロナ禍は続いていて、新年になって学生のコロナ感染者数は増えていました。今回はコロナだけではなく、インフルエンザの感染も増えていて、後期最後の段階にきて体調不良から講義の欠席を告知してくる学生が増えたために、法科大学院の講義は年明けから約1ヵ月オンラインでの実施となり、学部ではオンラインと対面のハイブリッド形式で実施となってしまうしました。そのためか、六甲台キャンパスの生協食堂のメニューは激減し、大学に来て講義を聴講する学生も昼休みになると山を下るという状態が続いています。午後からの講義がある学生は弁当を買って教室で食事を摂るという状態になり、新年を迎えてもコロナ禍の影響はおさまっていません。その中で、無事に共通テストが実施できたのは奇跡と言われないような状態です。後期試験もコロナの影響で欠席者が多く、追試験を実施しなければならぬことから、講義を担当している教員は大変です。

創立120年記念式典の開催

年末の12月25日には、文部科学大臣・永岡桂子氏をはじめ、

兵庫県副知事・服部洋平氏、神戸市長・久元喜造氏、株式会社三井住友銀行取締役副会長及び関西経済同友会代表幹事・角元敬治氏、国立大学協会会長・永田恭介氏、その他、地元国會議員並びに市會議員、各国総領事館、大学等教育研究機関、企業・財団、報道機関等、そして本学をご支援してくださっている卒業生など約600人を迎えて、神戸市中央区のポートピアホテル・ポートピアホールで神戸大学創立120周年記念式典が挙行されました。

第一部では藤澤正人学長の挨拶並びに決意表明に続き、各界代表からの祝辞が述べられ、ビデオで世界各地の協定大学の学長・副学長からの祝辞が披露されるとともに、第二部では日本学士院会員であり神戸大学法学部で長年教鞭をとられていた根岸哲名誉教授と、本学医学部卒業生のノーベル賞学者・山中伸弥氏の記念講演が行われました。その中でも特に、長年本六甲台後援会の理事を務めていただき、現在は評議員を務めていただいている根岸先生は、独占禁止法などの経済法の研究を進めるうえで、法学部をはじめとして経済学部、経営学部の教員との協力が大いに役立ったことなど、経済法の研究内容や神戸大学・六甲台キャンパスの研究環境について熱く語られていたことが非常に印象的でありました。

最終講義

暦の上で年が替わっても、大学のアカデミック・カレンダーは4月になるまで新年度は来ません。但し、年が明けると今年度の最後の講義・試験さらに新年度のための入学試験など、学

内での行事は続いていきます。その中で、今年度で退職される先生方の最終講義が実施され、まさに神戸大学での最後の教育活動が行われます。

2022年度で神戸大学を退職される先生は例年通りたくさんおられるのですが、本後援会との関係では常務理事で経済学研究所の吉井昌彦教授が3月末をもってご退職になります。

吉井先生は、1月20日、対面とオンラインのハイブリッド形式で「モスクワからブカレスト、そしてブリュッセルへ」と題する最終講義を行われました。そこでは、約40年前にまだソビエト連邦であった時代になぜ社会主義の経済を研究対象として研究を始めたのか、その後体制変革を経たルーマニアそして中東欧の経済システムから欧州連合へと研究対象が変化していった経緯などが興味深く語られました。なお、3月20日には、筆者や吉井先生と共に神戸大学の理事・副学長を務められた経営学研究所の水谷文俊教授の最終講義がやはりハイブリッド形式で開催されます。法学研究科では、根岸先生の後をうけ経済法の講義等を担当しておられた泉水文雄教授が退職されますが、泉水先生は最終講義をなさらないようです。定年で退職なさる先生方には、長年にわたる神戸大学でのお勤め並びにご貢献、大変ご苦労様でした。

卒業生を送り出すと新入生を迎える

そうこうするうちに、大学も年度変わりになります。3月になると卒業式が行われます。今年は、式典終了後の謝恩会の案内も来ていますので通常通り実施されるものと思われれます。そ

れが終わると、やがて4月になり、神戸大学にも新入生が入学してくるようになります。大学院ではすでに入学試験も終えて、新たに研究生生活や専門職の勉強を始める学生がほぼ決定していますが、学部についてはこれから入学試験が本番になります。今年度は共通テストの成績が芳しくなかったとの報道もあり、いったいどうなることかと思っておりますが、出願状況を見る限り、多少受験者数を減らした学部もありますが、概ね例年通りという状況でしょうか。今年の現役の受験生は、コロナの影響でまともな高校生活を送れていない生徒が多く、おそらく大学入学後は、楽しい学生生活を夢見ていることと思われれます。受験生には、コロナやインフルエンザには注意して体調を整えて受験してもらいたいと思います。ゴールデンウィーク明けには感染症法上のコロナの位置づけも変わるとの報道もあり、入学後は普通の大学生としての学生生活を送れることを祈っております。4月以降の六甲台キャンパスが、コロナ前のように、学生が集う明るく賑やかな状態に戻ることを教員も祈念するところです。

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、2月10日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に、小嶋泰次郎様（昭43経営）、奥井秀穂様（平3法）、田口藤造様（昭28）各5千円、太田義人様（昭51経営）、多田葵様（平27法）、匿名様（昭48経済）、木村正則様（昭50経済）、

白神 雄様(昭48法)、市川義明様(昭62法)、藤原達也様(昭38経営)、紀藤純典様(昭56経営)各1万円、中埜晶夫様(昭51経営)、川上義顕様(昭54法)各3万円、丹羽 徹様(昭38経営)、水島 昇様(昭51法)、森安陸夫様(昭31経営)各5万円、犬飼利弘様(昭32経営)、渡辺仁太郎様(昭34経営)、熊谷 清様(昭39経営)、須戸裕治様(令3経済学研究科)、山田敏行様(昭33経営)、新垣恒則様(昭40経営)各10万円。計90万5千円をご寄附いただきました。誠にありがとうございます。

お陰様で、令和4年4月以降の寄附金額は558万9千2円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。

また、本財団ホームページからもご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。よろしくお願ひ申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<http://www.rokkodafund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078)861-3013

E-mail:k-koenkai@rokkodafund.com

